



62号 2014. 11. 20



アイメイトデーでは
カレンダーも
たくさん売れたよ!



<特集>

第38回

アイメイト・デー

悪天候の中、アイメイト50組、合計290名
が参加して盛況のうちに終了!

協会だより

- ◆アイメイト卒業生人数
- ◆協会スタッフの研修について
～プロフェッショナルになるために

連載記事

- 後援会メンバー紹介 (浅利 京子さん)
(飯島 美帆さん)
- 風を切って歩く幸せ (駒形 美智子さん)
(川田 のりこさん)

※同窓会リレー紹介はタイトルを改め、
様々な形で使用者の方たちをご紹介します!

- 後援会員なら知っておきたい
誘導「駅で待ち合わせをして出掛ける」編

後援会からのお知らせ

- これまでの行事・活動&これからの行事・活動
- アイメイトサポートグッズカタログ
- アイメイト募金芳名録
- 役員会議事抄録
盲導犬刺傷事件～私たちにできること
- 会員のページ
- 2015年アイメイトカレンダー(裏表紙)



第38回

法人アイメイト協会 第38回アイメイト・デー

特 集

アイメイト・デー 開催

日程：2014年10月5日（日）13:00～15:50

場所：TKPガーデンシティ竹橋

参加者：計290名

（うちアイメイト使用者は50組。アイメイト協会卒業生、アイメイト後援会、飼育ボランティア、関係企業・団体など）

2014年10月5日（日）、TKPガーデンシティ竹橋（東京都千代田区）にて、「第38回アイメイト・デー」が開催されました。大型台風が関東に迫るあいにくの天候でしたが、参加者は合計290名。うち、アイメイト使用者は、50組と大盛況でした。協会活動の報告や使用者や支援者たちによる「アイメイトを語る」など、相互理解を深める楽しい会となりました。

■使用者とともに歩み続けるアイメイト協会

■たくさんの応援を背中に受けて事業を推進

◎アイメイト協会 塩屋隆男代表理事

本日は、天気の悪い中、たくさんのアイメイト使用者においでいただきまして心から感謝しております。アイメイト協会は使用者の皆さんがあって存在しています。本当にありがたいことと感謝しております。

また、協会を支えてくださる皆さん、この事業に関心を持ってくださっている皆さん、ご参加くださいまして本当にありがとうございます。

協会では昨年度、33組のペアを送り出させていただきました。今年の4月から今年度、現在までに15組のペアが卒業されています。ちょうど昨日も卒業式で、埼玉県的女性が2名、石川県の男性1名、北海道の男性が1名ということで、4名の皆さんが巣立って行かれました。

それから1週間後の次の12日土曜日からは、新しいクラスが始まります。

以前は、だいたいクラスの始まるひと半月くらい前にならないと日程が確定できないということで、



希望される方は忙しい思いをされていたと思います。今は協会の歩行指導員が大変頑張ってくれて、予定もだいぶ先まで立つようになりました。

これから今年度中にあと3クラス。それから年度が明けてからあと2クラス。ここまで全部予定が確定しています。協会としても、少しずつではありますが、出来ることは努力して進歩するように努めています。

これからも使用者の皆さんと一緒に、いいアイメイトづくりに努めてまいります。また、支えてくださる方々の応援を背中に受けて、これからも事業を進めてまいりたいと思います。

「アイメイトを語る」

◎アイメイト使用者 志賀信明さんの話

- もっとも大切なことは、「感謝」の二文字
- アイメイト協会は永久に不滅です！

約6年半前、アイメイト協会を卒業した時のことを振り返ってみたいと思います。ご存知のように、協会の歩行指導は、約4週間の合宿形式で行われます。歩行指導に入るとすぐ、いきなり白杖を取り上げられ、すぐさま勉強が始まります。午後からはチェーンカラーやリードの扱い方、ハーネスの装着方法などなど。もうこの時点で私の頭の中はパンク寸前です。夕方、同期の男性と風呂に入りながら、思わず泣き言が出る始末でした。

私が、相棒となるアイメイトと初めて会ったのはその翌日。私と出会うことを前々から知っていたような態度で接してくれました。そして私の中のスイッチが入った瞬間でした。「よし、絶対に連れて帰るぞ」と心に誓い、それから卒業の日を迎えるまで、がむしゃらに毎日を過ごしました。

犬との歩き方、ブラシ、歯ブラシ、排泄といった犬の世話、次から次へと襲いかかる目新しいことを片っ端から頭と体に詰め込んでいきました。AからDまで4つのコースの地図を頭の中に叩き込んで、その都度コースごとにテストがあって、更には、恒例の銀座での卒業試験です。

卒業試験ですから、普通ならこれで卒業できるはずですが、その翌日に「幻の卒業試験」なるものが控えていました。今までがんばってきたことすべてを幻にするわけにはいきません。初めて歩く人通りの少ない道。気持ちを落ちつかせて、あらゆる感覚を集中して、最後のポイントとなる歩道橋を見つけるためにアイメイトに指示を出しました。ハーネスから伸びるハンドルの角度が変わりました。登り階段の一段目に、両足を乗せて止まったのです。事実上の卒業を決めた瞬間です。「GOOD!」「よっしゃ！やったぜ！」思わず声に出し、アイメイトと喜びを分かち合いました。

私にとって、いつでも脱獄したいほど過酷な日々だったはずなのに、不思議なことにいつの間にか、とても居心地の良い場所になっていました。



職員は私達を障害者としてではなく、常に一人の人間として接してくれました。銀座での卒業試験を終え、銀座から東伏見駅、そこから協会までの道を歩きながら、まるで自分の家に帰ってきたような、ほっとするような温かな感覚を抱いたことを覚えています。

卒業式の日。前夜からの雨が本降りとなり、5月としては肌寒い朝でした。居室の掃除をし、初日に取り上げられた白杖は段ボール箱の中に叩き込んで、前日に頂いたアイメイト使用者証を胸ポケットに忍ばせ、卒業式に臨みました。理事長をはじめ職員の皆さん、たくさんの来賓の方々が私達の新しい門出を祝ってくださいました。

担当指導員に続いて、同期生による挨拶を聞いているうちに、今度は私の中で何かがプツリと切れました。気が付くと私の両方の瞳から次々と涙があふれているではありませんか。自分の番になっても言葉が出てきません。やっとのこと絞り出した言葉は、「ありがとうございました」の一言だけでした。

もしかすると、協会で学んだ最も大切なこと、それは感謝という二文字だったのかもしれませんが。そしてその思いは今も変わることはありません。協会職員、後援会、アイメイトに関わる本当に大勢の皆さん、そして何よりも、私にとってかけがえのないアイメイトに対する気持ちです。

彼は私にたくさんの出会いを与えてくれました。彼は私の後ろ向きだった性格をも前を向かせてくれました。

ご来場の皆さん、アイメイト協会は永久に不滅です！今後も皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。センキュウ！

■アイメイトの崇高さに感動

■誇らしい気持ちで繁殖奉仕に取り組む

繁殖奉仕と言っても、我が家の犬はオスです。メスの繁殖奉仕は大変ですが、オスだと全然大変じゃないんです。感動していただけるような話は全くないんです（笑）。とはいえ、オスの繁殖奉仕はどんなものかという、メスの方が準備が整ったぞとなったら、ご機嫌が変わらないうちに馳せ参じると、まあ、それだけの仕事なんです（笑）。

それでも、行く時や戻ってきた時の犬は、すごく誇らしげな感じです。まあ、本能に赴くままだったのかもしれないですけども、少なくとも我が家の人間はすごく誇らしい気持ちで繁殖奉仕に取り組んでいます。今日は、なんでそんなふうになるようになったかというお話をします。

我が家では繁殖奉仕に移る前には、飼育奉仕を続けていました。そのうちに、何頭目かで「この子は親になれるですよ」ということで、そのまま繁殖奉仕に移りました。その飼育奉仕の時の思い出です。

使用者の皆様はご存知だと思いますが、銀座の卒業試験の時、私たち飼育奉仕の家族は道の反対側で見つめています。どこも家族でいらっしゃっていて、理事長から、「決して見つからないようにしてくださいね」「大声で騒いだりしたらダメですよ」こんなふうに言われながら遠くから見守っています。銀座のど真ん中でかくれんぼをやっているような感じです。

そんな中、最後のブロックのところまで来たところで、卒業試験をしている犬が我々に気付いちちゃったんです。「二度見」っていうのは本当にこのことだと思いました。

ちょうど横断歩道の手前で止まり、使用者の方は左右に聞き耳を立てている感じです。で、犬は右見て左見て右見て、とやっているわけです。で、こっちを見たときに、「えー！」っと、いう表情をしました。本当です。犬にも表情があります。

そのうち耳がぐーっとこっち向いてくるんです。うちの娘は小さい声で言いました。「しまった！」もう我が家は凍



りつきました。ものすごい時間が経ったような、凍りついた瞬間でした。信号がパッと青になりました。使用者の方が「ゴー」と言います。そして、こちらをジーっと見ていた犬が左右をサッサッと見て、ゴールに向かって歩いていきました。

その時、私たちはアイメイトの崇高さを教えられたような気がしました。このように言うと、協会の方や使用者の方は、「そりゃそうだ。無視するように教えてるんだから」と、共感いただけないかもしれないです。けど、よく考えてください。皆様方は無視されたことは無いですよ。我々は無視されたんです。でも、その無視をされた時に崇高さを感じた。これは衝撃でした。

犬に崇高な精神があるかどうかはわかりませんが、そういう崇高な精神で進めているという、大変すばらしい事業だと思います。私はその時に本当に、「ああ、僕らはちょっと違ってたな。これはもっと崇高なものなんだ」と改めて感じました。そして、このボランティアをもっと続けていこうと決心しました。

今は、繁殖奉仕ということで、たまに電話がかかってくるとすぐに、「じゃあ行こう」となります。「一刻も早く行こう」と。これは家内の役目なんですけど、「一刻も早く行こう」と思える気持ちがまさに崇高な事業のお手伝いをしているという思いなのです。

色々な思いが集まってこの事業が成り立っていると思います。今日、多くの方が集まっているのを拝見し、そういう思いをより一層強くいたしました。これからもこの事業が末永く、そして拡大していくことをお祈りいたします。



■リタイア後は“ボランティア活動”で充実
■多くの人と触れ合うのはリタイア犬の“特権”

私はリタイア犬や不適格犬の飼育奉仕をしています。今年で14年になります。いま、うちには6代目、7代目、8代目がいます。6代目、7代目はリタイア犬。8代目は不適格犬です。

リタイア犬奉仕の家庭もいろいろだと思いますが、我が家に来ると忙しいです。もちろん体調は大事にしますが、やることがいっぱいあります。

まずひとつは、地域パトロールです。アイメイトサイズの犬がもう一頭、捨て犬だった子がいるので、4頭揃ってぞろぞろと歩きます。駐在さんに頼まれた『防犯パトロール』というベストを着て、東へ西へ歩ける範囲のところを、時間も場所も変えて歩きます。

特に子供たちに声をかけて、嫌な事件に巻き込まれないようにパトロールしています。そうやって触れ合っていると、お年寄りとずーっと話をしてしまっ、気が付くと真っ暗になっちゃうこともあります。

2つ目は、学校で盲導犬についてお話することです。「盲導犬って知ってる？」というお話をしに、近所の学校に行きます。

この前、亡くなったリタイア犬がいました。それで、命の大切さを伝えたいと思って、本屋さんに行ったのですが、いい本がなかったので自分で作りました。その子がうちに来たら天国に行くまでのことをまとめました。

こういう本なんですけども（高く掲げて見せる）、去年、協会の機関紙に載せていただきました。これを読み聞かせながら、みんな命は一つしかないのだから大切にしようというお話をしています。

最後に、私はおじいちゃん子で、お年



寄り大好きです。うちにいるリタイア犬たちはみんな元気なので、一緒に老人ホームに慰問に行くようになりました。

ある老人ホームに初めて行ったときのことで。そこは定員が200人くらいの施設なんですけど、さっそく回ってみてくださいということで、2階から3階までぐるっとまわりました。そしたら、すごく喜んでくださって。犬と触れ合ってもらおうと、例えばリウマチで体が痛い方でも、がんばって手を伸ばすということがあって、リハビリの先生に焼きもちを焼かれました（笑）。

また、ぜんぜんお話をされない方が、犬と触れ合うのをすごく楽しみにしているということもあります。私は元気なところしか見ていないんですけど、犬の名前を呼んで本当に楽しみにしているそうです。

いま、全部で8カ所10施設を訪問しています。ちょうどこの前、犬たちが何人の人と触れ合っているのか数えました。1カ月に1回のところもあれば3回のところもあるのですが、だいたい400人の方と触れ合っています。アイメイトは現役の時人は人が触ることができないので、これはリタイア犬の特権だと思っています。色んな方に触れ合っていて、それを楽しみに長生きしてほしいなと思います。

あと、訪問するときは、後援会で以前売っていたTシャツをユニホームとして着ています。後援会に許可をいただけていないんですが、必ずそれを着ていくようにしています。ありがとうございます。これからも皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



■可愛いくて可愛くて、本当に可愛い子犬
■どうしてもアイメイトになってほしい

今年の6月に、1年1カ月一緒に生活した犬を協会に無事に戻させていただきました。もうその日から寂しくて、寂しくて。朝起きても夜寝ていても、「今頃どうしているかな」「元気にしているかな」「厳しい訓練に耐えているかな」と、一日中子犬のことを思っています。そして、せっかくここまでできたのだから、「どうしてもアイメイトになってほしい」と祈り続けています。

昨年の6月に協会から、小さなラブちゃんを我が家に連れてきていただきました。ケージから出て、よちよちと外に出てきたときに、本当に可愛くて、私も家内も天にも登る気持ちでした。

でもその喜びも束の間、その日から私は雑巾と消臭スプレーをもって部屋中を這いずり回りました。本当に大変でした。「今日は静かだな。」そう思って、そうと部屋をのぞくと、子犬は楽しそうにソファの角や机の脚、障子、カーテン、一生懸命かじって遊んでおります。一日中、後を付いてまわっていた気がします。

また、ある朝起きたら、ぐたーとしていたので、びっくりしてすぐに動物病院へ連れて行きました。診察の結果、胃と腸の境目の辺にしこりが出来ていて、おそらく食べたものがつかえたんじゃないかと。すぐに吐き出す手当をしていただきましたが、どうしても出てきません。先生は、レントゲンを30分ごとに撮って、半日かけて調べてみるということで、私はすごすごと一人家に帰りました。とても心配でした。

3時ごろ病院から電話があり、「このままだと、開腹手術しますので覚悟してください」と。すぐ協会に連絡したところ、協会もびっくりして「連絡を密にしましょう」ということで、まんじりともせず、夕方まで過ごしました。

夕方5時ごろ電話が鳴り、恐る恐る受話器をとると病院からでした。腸のぜん動運動が急速に始まり、排せつと一緒に全部出てきましたということで、天にも登るような嬉しさでした。

4カ月が過ぎると、散歩に出れるようになります。家のすぐそばに都立石神井公園があり、日頃



からたくさんのワンちゃんが散歩しています。100頭以上のワンちゃんと友達になりました。私はサラリーマンで都心の方で働いていたので、地元にはほとんど交友関係はありませんでした。でも、お陰で、地域にたくさんの犬友が出来ました。忘年会や新年会もやるようになりました。

孫が横浜に2人いて、子犬に会いによく遊びに来ました。孫は本当に可愛いです。子犬も孫も「自分が親分だ」という気持ちで取っ組み合いをしながら一日中遊んでいます。こんな可愛い孫を見ながら、でも私とすると、孫より子犬の方が何倍も可愛いんですね（笑）。本当に可愛いです。こんな可愛い子犬と別れるのは辛いなあという気持ちも出てきてしまって、最初は一年ということでお預かりして、その覚悟はあったのですが、だんだん日にちが迫ってくると、引き渡すのがいやだなあというような気持ちと、一方、この犬はアイメイトになるために生まれてきたんだ、だから絶対アイメイトにならなきゃいけない。でも、もしなれなかったら、私の家族と一緒に暮らしたいという気持ちもありました。

私はゴルフが趣味で、子犬が来る前までは、年間30～40回ラウンドしていました。でも子犬が来たら本当に可愛くて、こんな可愛い子を預けてまでゴルフなんかやってられないということでこの1年間、ゴルフに行ったのはゼロです。

私は、お別れして以降、一度も子犬と会っていません。協会に行けば会えると聞いたのですが、万が一子犬に里心がついて訓練に遅れが出たらまずいと思って我慢しています。6月を今生の別れとしました。

先程の話にもありましたが、銀座の卒業試験の時には、本当に号泣に次ぐ号泣だと思います。しっかりと訓練をクリアして、アイメイトの仲間に入れることを願っています。

■大切なのは、人と人の気持ちが通うこと
■もっともっと、アイメイトを広めていきたい

13年前のことです。後援会員で飼育奉仕をしていた井上さんのご自宅に子犬が来るということで、私も家内も娘も犬が大好きなものですから、その時は何も知らずに見に行きました。子犬ですからあちこち噛んだりして、ソファはボロボロでどこに座っていいのやら（笑）。でもやっぱり、犬を第一にしている、それだけ可愛がるんだと感じました。

そこで、飼育奉仕やいろいろな話を伺いまして、私にも何か出来ないだろうかということで、後援会に入会しました。募金活動にも参加するようになり、大学の学祭や街頭での募金活動など、自分なりに参加してきました。

7年前に私は和太鼓を習い始めました。そして和太鼓の演奏を聞きに行ったときに、「片岡亮太」という全盲の方が太鼓を叩いていました。太鼓を3つも並べて。その時に、見えなくても叩けるのだと思いました。自分でもやってみて、やっぱり「叩けるな」と思いました。

そこで、後援会を通じて、アイメイト使用者の方に希望者を募ったところ、お二人の女性が手を挙げてくれました。でもじつは、その時はまだ、指導してくれる先生に話してなかったのです。

先生に話したら、「ええ？」となりました。「ちょっと待って。どうやって教えるんだろう？」と。

私も困ってしまい、お二人にどう話そうかと思ったのですが、使用者の方がその時にスバツとおっしゃいました。「目が見えないからでしょ。そんなこと心配することありません。」

その一言で、先生の方も、「ああそうか。心配することなど無いのだ」「一緒にやろう」となりました。

教室は狭いです。8m×6mぐらいの部屋で、猛烈に叩きます。8人ぐらいで叩くのですごい音です。アイメイトもその部屋の中に入るので、最初は心配だったのですが、それでも1時間も過ぎるとじっと、この会場にいる皆さんのアイメイトと同様、寝ているんですね。あんなうるさい中でよく寝れるなと思うんですが（笑）。まあ、そう



いうことで、練習に通うようになりました。

次に、一泊の合宿がありました。もちろんお二人も合宿に出るということで、さあこれも先生に相談して、どうしたらいいんだろうかと。お二人とも女性ですから、私が手伝えることと手伝えないことがあります。どうやって接したらいいのか、分からないんです。

でも、一緒に現地に行ってみて、最初にお二人が気にされたのが、ワンツールの場所でした。自分の事よりアイメイトの事を気にしているのです。

で、夜になると、太鼓仲間が集まりまして、自然とお二人の部屋に集まっているんですね。なので、翌日はもう、何気なく、そして積極的に声をかけてくれるようになっていました。やっぱり人というのは気持ちが通うと違うんだなということを思いました。そして、もっといろんな人にこういうものを広めていきたいと感じました。

さて、例年10月に発表会があります。昨年、もちろんお二人も出演しました。ところが、太鼓を打っている時は、お二人が全盲だということに観客は誰も気づいていないんですね。打ち終わって移動するときようやく、先生が誘導するので、「あれ？目が見えないんじゃないの」ってなっていました。それを見た時に、私は、「ああ、よかったな」と思いました。

今年もこれから、10月19日に発表会があるのですが、この前の埼玉の事件などもあって、先生たちもなんとか協力したいと言っています。その時にアイメイトのチラシと募金活動をしよう。そして、来場者にいろんなことを知っていただく。アイメイトを知らない方にどうやって広めていくか、それが大事なことですし、私のこれからの課題だと思っています。

■ 8年前の約束通り、歩行指導を担当

■ このうれしさは、諦めずに続けたからこそ

早いもので、私がこの仕事に入ってから10年目。その間、私の前を320組の使用者とアイメイトが旅立って行きました。

今日は犬の訓練と歩行指導で私が今まで体験したことをお話しさせていただきます。まず、訓練中にあった、微笑ましいエピソードを2つ。

とある犬を訓練していました。目の前には道路標識のポール。障害物は右から避けるように教えています。その犬は得意げに手前から右に避けて、「どう？上手いでしょ？」と言わんばかりにこちらを嬉しそうに見上げてきます。私もうれしくてその子の頭を撫でようとした瞬間、犬の左ほほに避けたはずのポールが激突。思わず、「ちゃんと前を見て！」と突っ込みました。

そして、エスカレーターに初めて乗せた時のこと。初めて見る動く階段に、犬は「なにこれ？」といった素直な反応を示してきます。恐る恐る第一歩を踏み出している犬に私は、「使用者のもとに行ったら自分から進んでこれに乗るようになるんだから」とさとししました。

次に、人への歩行指導について。歩行指導において、身振り手振りはありません。すべて言葉で伝えなければなりません。そして、なにより、相手は人生の大先輩ばかりです。教えることよりも学ぶことの方が多くありました。

先輩指導員なら伝わることも、私では伝わらず、四苦八苦した時期もたくさんありました。そんな時にある使用者からの一言で救われました。誰かのまねをしてもうまく伝わらない。下手でも自分の言葉で一生懸命伝えることが大切なんだと気づかせていただきました。

近年、1～2年目の時に歩行指導を受けていた方が、新しいアイメイトとの歩行指導を受けに来ています。その当時、ある卒業式で私が、「今度もらいに来るときには私が担当できるように頑張ります」と言った言葉を覚えていてくれた方がいました。

ご縁があり、本当にその方を担当することが出来ました。それまで8年の月日が経っていますの



で、私もたくさん挫折をしていますし、一緒に入った同期も、今は横山^{あき}と二人です。あきらめずに続けていたからこそ、その方との約束を果たすことができ、とてもうれしい経験でした。

歩行指導の中で、この仕事の意味を教えてくれた出来事もありました。初めて歩行指導に来ていた方です。歩行指導が始まって数日後、まだ、期待よりも不安の方が大きいであろう時期に、部屋のゴミ箱に白杖が捨ててありました。私は間違えて捨ててしまったのかなと思い、その方に尋ねました。その方は、「4週間後は絶対にアイメイトを連れて帰ります。だからもう白杖は要りません」と力強く答えてくれました。

「アイメイトと一緒に、1人で自由に歩きたい」という使用者の強い思いを実現するために、私達協会が全力でサポートしています。そしてそれは協会だけではありません。繁殖奉仕、飼育奉仕、リタイア犬奉仕、後援会、そして、協会を支えてくださる多くの方たちもそれぞれの形で応援してくださっています。それはきっと塩屋^{しほ}賢一が目指していた形であると思います。多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、そしてこの仕事が出来ること感謝をし、私達は使用者の社会参加を一生懸命サポートしていきます。これからもアイメイト協会職員一丸となり、私たちにできることを精いっぱい頑張っていきます。今後とも皆様のあたたかい応援とご協力をよろしくお願いします。





■「誘導」スタッフは計23名

■荒天の中、竹橋駅構内から会場内まで誘導

50名ものアイメイト使用者が一堂に会する機会は、このアイメイト・デー以外には無いと言って良いでしょう。そんなアイメイト・デーをスムーズに運営するためには、後援会員による「誘導」がとても重要となります。まして、アイメイト・デーは、会場がいつも同じというわけではないのです。さすがのアイメイト使用者といえども、初めての会場には不安もあるでしょう。



さらにこの日は、“大型で非常に強い台風”が関東に近付いていました。雨、風に加えて、10月としては異例の寒さの中、後援会員有志23名が駅構内から会場までの要所要所に立ち、アイメイト使用者を「声」でサポート。強風に負けないよう、懸命に大きな声で呼びかけました。

■「受付」スタッフは5名

■使用者、来賓などを分担して

受付業務も毎年恒例、アイメイト後援会がサポートします。今年は計5名のスタッフが、使用者、来賓などと分担し、お名前を確認しました。



■「グッズ販売」は9名で担当

■アイメイトサポートカレンダーも販売開始

会場に入ってすぐの場所に、グッズ販売のコーナーを設置。今年はスペースも広く、多くのサポートグッズが並べられました。そして、新しい「アイメイト サポートカレンダー」のお披露目＆発売開始もアイメイト・デーの恒例です。今年は、イエロー、ブラック、ブラウンと3色揃った子犬が表紙を飾りました。アイメイトと、アイメイトを支える人々の絆をテーマにした写真をめくるうち、自然とアイメイトへの理解が深まるカレンダーです。

この日は1日で、約34万円の売上げとなりました。この利益は、全額後援会を通じてアイメイト協会へ寄付されます。



Voice

後援会員の声



初参加のアイ メイト・デー

浅田和夫

その子犬は、昨年6月に我が家にやってきました。4月生まれの子。妻と娘の要望で、初めての飼育奉仕です。

8月の海水浴、まだ小さいのに楽しそうにスイスイ泳ぎ、浜辺を走り回りました。お正月のスキー場では、雪の上でピョンピョン駆け回り、2月の東京の大雪でも大喜び。こんなに頭が良くて紳士でユーモアがあるとは…。想像を遥かに超えました。長男も次男も、近所のおじちゃんおばちゃんも、みんなみんなこの子犬が大好きになりました。

覚悟していたお別れは、今年の5月でした。前日、犬が大好きだった海に妻と行ったのが最後の思い出です。

犬が去った後は複雑で、空虚感に支配されました。「立派なアイメイトになるよね」「いや、帰って来て欲しい」「銀座での卒業はどんな感じかな」「別れの決心がつくかもね…。」思い出さない日はありません。

10月5日、台風前日という雨の中、アイ メイト・デーは挙行されました。私と妻は歩道での誘導を行いました。アイメイトたちは、たまにブルブルッと雨水をはじき、常にユーザーに気を配り先導していました。他を受け入れない一体感がありました。

同じく驚いたのは、ユーザーが傘を差していないことです。最初は「えっ？」と思ったのですが、その後も皆様同様なので「これは決め事なのだ」と察しました。土砂降りに傘も差さず、交通機関を乗り継ぎ、それでもこの会に出席なさるのは、協会やボランティアへの感謝の気持ちなのだと思います。

アイ メイト・デーに参加させていただき、少し客観的になりました。「我々の育てた、あの素晴らしい子犬は、立派なアイメイトになるべきだ」「銀座はお祝いだから、出る涙はきっと嬉し涙だ」「あの子犬は頑張ったから、我々も笑顔で見送れるよう頑張らなくては」と。



アイ メイト・デーに参加して

金澤信子

私は今年の8月に後援会に入会した新人です。我が家では5歳の不適格犬ラリーを家庭飼育しています。今回初めてアイ メイト・デーに参加して、誘導のお手伝いをさせていただきました。

この日は台風が接近しており、あいにくの雨の一日となってしまいましたが、初めてのお手伝いということもあり緊張の方が上回って、雨のことはあまり気にならないくらいでした。しかし、遠方から参加されたアイメイトと使用者さんは、大変でしたでしょうね。

係の仕事は、事前に仕事の内容と役割分担の説明がありましたので、戸惑うことなく出来ました。最寄駅から会場まで、数～数十メートル間隔に係の者が立っていましたので、使用者さんも不安なく会場に向かえたと思います。

ただ、不慣れな私は、後から来たアイメイト使用者さんが前の使用者さんと詰まってしまう場面や、前方から一般の歩行者がやってきてすれ違う場面での声掛けがスムーズにできなかったように思い、反省点としてあります。今後は、その点に注意してお手伝いをしたいと思っています。

さて、アイメイトデーですが、元名アナウンサーの進行により、とても和やかにスタートしました。参加された使用者さんの自己紹介がありましたが、出来ればアイメイトの名前と年齢もお聞きしたかったです。

第二部は、現役アイメイト使用者さんの4週間の合宿生活でのお話や繁殖・リタイア・飼育の奉仕をなさった皆さんのお話。犬を持たずとも、後援会員として支えてくださっている方やベテラン指導員さんのお話と盛りだくさんでした。

思わず笑ってしまう楽しいエピソードや自分も犬を飼育している身だから思いがわかるだけに、涙が出てしまう話など、皆さんの貴重なお話を聞かせていただき、参加して本当に良かったと思いました。

ラリーを迎えてから、今まで知り合うことのなかったたくさんの人との出会いがあり、喜びをいっぱいもらい、今があります。その恩返しに、少しでも出来る範囲のお手伝いをしていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

2014年4月に、アイメイト協会同窓会会長に就任した駒形美智子さんにコメントをいただきました。いつも朗らかで、明るい駒形さん。これからも、同窓会と後援会は、二人三脚でよろしくお願いします！

こんにちは！ 今期の同窓会会長、駒形です。

後援会の皆様の同窓会活動への多大なご支援・ご協力、本当にありがとうございます。

伝統ある同窓会の歴代会長のすばらしい方々のあとに、私のような若輩者が引き受けてしまい、不安なスタートを切りました。力ある理事の皆さんに支えられて、なんとか会の活動を行っています。

気づけばいつのまにか古いアイメイト使用者になっていました。旧協会の施設での最初の歩行指導の時の事を思い出します。「視力はなくても、心の視野の広い、明るく積極的な社会人になりましょう」の言葉を心に刻み、アイメイトと一緒に得た自由な生活に日々感謝しています。

時代が変わってもアイメイト精神は変わらず、より輝きを増しています。

塩屋先生にはまだまだ未熟・理解不足と言われそうですが、私なりに学んだ事を実践して行きたいです。

これからも同窓会活動へのご支援・ご協力宜しくお願いします。



駒形会長、よろしくお願いします！

(撮影：内村コースケさん)



<後援会は、同窓会の活動に対してさまざまなお手伝いをしています>

- 同窓会総会や研修会、レクリエーションなどのお手伝い
- 同窓会会員向け CD『ひろば』および文書発送のお手伝い
- その他、同窓会より依頼があった時のお手伝い

川田のりこさんは岐阜県にお住まいのベテラン使用者です。同窓会のメーリングリストで、地元の美味しいモノや旅行の話などを投稿されています。そんなアクティブな川田さんの日常を、ミニ通信でも紹介してくださいとお願いし、今回ご登場いただきました！

昭和50年代に最初のアイメイト歩行訓練を受けてから、現在は4頭目のアイメイトと暮らしています。

およそ1カ月の合宿による歩行指導を終え、帰宅した翌日、当時吟詠教室を3か所もっていたのと岐阜盲学校の箏曲部の非常勤講師をしており、その会場にアイメイトのアナナスと二人だけででかけました。

「あの日、心配だったからこっそりと後から見守りながらついて行ったんだよ」と半年後に母から初めて聞かされました。

かつては自由に動き回っていた私ですが、失明により介助を必要とする日々を送っていました。まさか単独歩行ができるようになるとは到底思ってもいませんでした。

初めてアイメイトとしかもスピーディーに歩けたことは、まさに以前のように視力を取り戻せたようで喜びはひとしおでした。この感激を文章に残しておきたく、市の文芸祭の短歌部門に応募したところ入賞し、アナナスと二人だけでその授賞式に市立図書館に出向きました。

その後、名古屋で毎日曜日アマチュア無線のライセンスを取得するべく、勉強会に2カ月通い、当時の東海電波管理局にて受験し電話級のライセンスを取得しました。

結婚後、子供の学校の授業参観にも必ずアイメイトと出かけました。岐阜県では私が最初的使用者でしたから子供たちにもとても人気がありました。

旅行が好きなので3泊4日の長崎の旅に地元の恩師と全盲二人と盲導犬2頭で出かけ、長崎市内やハウステンボスなど行く先々で人々の温かな心に触れ予定どおりの旅を終えることができた。



野菜を育てる奥深さを実感されているとか。畑にもアイメイトと出かけるそうです。

また、幸運にもトワイライトエクスプレスの切符を手に入れることができ、5月のさわやかな季節にやはり全盲二人と盲導犬2頭で北海道にも出かけもしました。この寝台特急はとても人気できっぷの購入が困難とのこと。駅員さんですらキャンセル待ちでも手に入れないと聞きました。

北海道では観光タクシーを利用して楽しい旅を満喫しました。今もアイメイトと二人で、あるいは友達とあちこち旅行に出かけています。

10年あまり前から、農家の休耕田を借りて、いろいろな作物を育てています。ゆったりのんびりと青空の下で小鳥のさえずりを聞きながら備中鍬をふるって楽しんでいます。

畑は広いので畝切りが歪まないように、ところどころに杭を立ててその杭と杭に紐を張ってそれと並行に畝を切って行きます。アメリカ人に以前いただいた南米のオクラがこの季節、勢いよく伸びていて時々収穫しています。

長茄子が私の腕よりも長く伸びて、ぶら下がっています。今年は玉ねぎやピーマンもかなり収穫できました。スーパーで野菜を買うこともほとんどありません。

今は秋野菜を植える時期で、毎日早朝5時ごろから畑に出かけて作業に励んでいます。今年の夏は、長雨だったので雑草がかなり伸びており、雑草の刈り取りや土起しで毎日くたくたです。4、5時間あまりクインスは畑でおとなしく待ってくれています。

秋は植えものが多く、わけぎ、ネギ、らっきょ、大根、青梗菜、大にんにく、白かぶ、小松菜などの植え付けを終えましたが、玉ねぎや空豆、エンドウなど植える物があり毎日がとても忙しいです。

冬に向けての種まきや苗の植え付けは、1週間遅れると収穫に影響するので、こちらも慌ただしいです。夏の長雨で畑に入れなかったのも、秋撒きの準備が大幅に遅れ、そのしわよせでなおさら忙しくしています。

昨日は、ゴーヤ、かぼちゃ、なすび、ピーマン、オクラなどの収穫ができました。サツマイモも、そろそろかと楽しみにしています。

私は、調理よりも育てるのが楽しみで、農家の人たちに教えを請いながら今日までできました。以前は、ただ植物を植えておけば育つものぐらいに思っていたのですが、その道に入ると土起しの仕方から勉強することになり、とても奥が深いと最近実感しています。



毎日、暇さえあれば読書を楽しんでいますが、健康維持のためにも動ける間はアイメイトとふたりで畑に毎日通いたいと思っています。



《イベント》

《参加後援会員・アイメイト使用者 他 敬称略・順不同》

7/19(土)～20(日) 喜多方レトロ横丁 (ふれあい通り)

松澤 2

ラブがご縁で喜多方商工会の温かいご協力を頂きました。茨城から犬連れで泊りがけの参加ですが来年も行きたいです。

8/24(日) わたぼうし宮崎コンサート(市民文化ホール)

蔵元・他 グッズなどをお送りしての委託販売

障害者とボランティアの音楽を通しての自己表現の場、音楽の祭典！短時間の間に募金も。来年もぜひ参加したいです。

9/7(日) 古河ふれあいコンサート(古河市とねミドリ館)

松澤 2・他スタッフ 38 名

同時開催“盲導犬の父 塩屋賢一とアイメイトの歩み展 in 古河”パネル展示

昨年に続いての開催。ホールのパネル展示で来場者を迎え、アイメイトがテーマの“語り”など盛り沢山のコンサートです。

9/13(土) 聖心宮代祭

(聖心女子大学)

大熊・鳥越・他

今年参加して下さったアイメイト使用者は鳥越レナさん。お買い物にいらした大学生や子供たちと話が弾んでおられました。

9/13(土) 数寄屋橋募金活動 (銀座数寄屋橋)

日本橋ライオンズクラブ・小松 2・水野(晴)2・風間・高澤・古川
・川嶋・大西・藤井・富澤(一)2・井上・新井・鈴木 2・他ヤクルト社員
連休の合間、一日挟んでの数寄屋橋募金活動です。

9/15(月・祝) 数寄屋橋募金活動 (銀座数寄屋橋)

京橋LC・八重洲LC・数寄屋橋LC・小松 2・水野(晴)2・谷口・藤井
・大西・石川 2・荒井・糸賀・鈴木 2・他 ヤクルト社員・山田(雅)3

サプライズで「語りの劇場」でお馴染みの俳優、山田雅人さんがご家族
で参加！メンバーが大喜びで、銀座に花が咲きましたワン



9/20(土) 東京学館橘華祭 (東京学館浦安校)

高山・他

インターアクト部の皆さんによる委託販売

学園祭で、教室一部屋使用で、協会パネル展示やアイメイトDVDの放映などもできました。

9/23(火・祝) 青山学院同窓祭 (青山学院大学)

飯島 2・武田・森田・松澤 2・野沢・高橋・磯村 2・久我・他

お天気に恵まれ、和気あいあいと、適材適所のスタッフのキビキビした動きと点字やクイズなどでブースが盛り上がりました。

9/23(火・祝) 動物愛護フェア川崎 (アゼリア地下街)

島田・水野(京)・小泉・風間・菅谷・他

協会指導員による 2 回のデモンストレーションをお客様が真剣に聞かれていました。終了後は、募金のご協力や、グッズ
のお買上げなど、またたくさんの優しい言葉も頂きました。(島田)

9/28(日) 東京パイロットクラブ (サントリーホール)

井上・荒井・他

アイメイトチャリティコンサート

第 1 部は使用者の演奏とお話などもあり、2部はオペラコンサートです。例年通り黒田清子さん、理事長ご夫妻がお見え
になり、華やかな会に。毎年ご購入の方が多く、「新しいグッズを」との声も。(井上)

10/5(日) アイメイトデー (TKPガーデンシティ竹橋)

お手伝い後援会員スタッフ 40 名

詳細別途掲載「特集ページP1～9」

10/11(土)～12(日) 古河関東ド・マンナ祭り

松澤 2・他 スタッフ両日とも約 30 名

(古河市中央運動公園)

協会による体験歩行はいつも通り盛況でした。年々地域での理解が深まり、たくさんのスタッフの協力を得ています。

10/11(土) 同窓会お手伝い

(アイメイト協会)

丸山(孝)

同窓会理事たちが集まり、11 月レクリエーション案内の発送作業を行うためのサポートをしました。

10/18(土) 江東区民祭り

(江東区木場公園)

大西・長谷川(圭)・藤井・溝井 2・山下(一)・石川
・富澤(一)2

東京城東ライオンズクラブ

初参加者の声～「歩行体験や参加の後援会員や来場の皆さんと接することができ、楽しい時間を過ごしました」

10/18(土) 盲導犬ふれあいキャンペーン(西武渋谷店)

グッズなどをお送りしての委託販売

協会指導員によるアイメイト体験と、西武様へ委託にてグッズ販売をして頂きました。次回以降は後援会も参加予定。

10/22(水) 明治神宮崇敬会

(明治神宮会館)

佐藤(典)・加藤・鈴木

参拝と講演などの催事。今回は阿木耀子さんの講演で、作詞された明治神宮の奉祝歌「優しさつながり」を聴きました。



10/25(土) 数寄屋橋募金活動 (銀座数寄屋橋)

城東ライオンズクラブ・小松 2・石川 2・大西・水野(晴)2
・長谷川(圭)・鈴木 2・ヤクルト社員

いつも参加頂いている、ヤクルト社員さんがお子さん連れで参加。
道行く人はボクの大きな声に足を止めます。ありがとう！
会社の広報の方にも取材して頂きました。写真も頂戴しました。➡



横浜青葉ライオンズクラブ 募金活動(横浜市青葉地区)

10/26(日) あおば自動車学校青葉祭 三村・吉岡・生津・笈川

11/3(月・祝) 青葉区民祭り 三村・大田・片桐・松尾・山本・吉岡

上天气で、動きにくいほどの人出でした。6頭の犬たちは個性を発揮しつつ、楽しく募金活動に参加していました。
両日とも「おかげさまで」とライオンズの方に感謝されました。(三村)

11/1(土)～2(日) よかんべ祭り (古河市総合公園) 松澤 2

何年も前から開催されていますが、アイメイトは初参加。1 日目は雨で、グッズを開けられなかったのは初めての経験です。
2 日目は人出も多く賑わいました。グッズ販売と啓発活動のイベントでしたが、来年は募金活動も行いたいです。

11/3(月・祝) としまふれあいバザール (池袋東口公園) 飯島 2・森田・武田・高橋・水野(京)

豊島区・明るい社会を作る会のイベントで、恒例の協会によるアイメイトパフォーマンスが人気です。来場の豊島区長が
体験歩行をされました。来年竣工の新庁舎には補助犬用トイレが設置予定なので嬉しいですね。

11/3(月・祝) 嵐山祭り (女性教育会館) 山田・重竹・橋本・石田 2・養田・田中島・他

天気予報では雨でしたが、当日は秋晴れのイベント日和。去年に続いて 2 度目なので、会場の皆様も懐かし。若者達
の気持ちの良いサポートなど、感謝の一日でした。来年もこれからも…と言って頂き皆で喜びました。(山田)

11/3(月・祝) 八木橋百貨店募金活動 (熊谷市) 松澤 2

歩み展でもお世話になった、八木橋百貨店様のご協力を頂いて、実施する事が出来ました。アイメイト関連犬と百貨店
入口に立つと、お客様皆さんが関心を持って下さいました。今後続けて実施したいと思います。

11/4(火) 川崎駅募金活動 (川崎駅東口構内) 加藤・井上・水野(晴)・小松 2・高澤・鈴木 2

川崎多摩川ライオンズクラブ

平日にもかかわらず川崎駅の人出は多く、好結果を得ることが出来ました。LC会長さんにおみやげの大福を頂いて嬉
しかったです。カレンダーのご購入も頂きました。(鈴木)

11/10(月・一の酉) 浅草募金活動 (浅草長國寺) 水野(晴)・小松 2・高澤・小俣・谷口 2・長谷川(圭)

浅草ライオンズクラブ

酉の市で初めての募金活動です。手締め之音と掛け声があちこちから響き渡り、賑やかな下町浅草の活気で盛り上がり
ました。年の瀬も近い！



* 行事は決定次第、後援会ホームページ“NEWS”に掲載します。変更の場合もありますので、参加の場合はご確認下さい

11/15(土) PM2 時～5 時 川崎駅募金活動 (川崎駅東口構内) 鈴木(03-3878-7353)

11/16(月・祝) 青葉台福祉祭り (横浜市青葉台地区) 三村(045-981-4188)

11/22(土) 同窓会レクリエーション(横須賀花の国) 井上(03-3704-6119)

「駅で待ち合わせをして出掛ける」編

前々号では、「誘導の方法にルールはあるがマニュアルはない」というテーマで、基本的な歩行時の誘導についてお伝えさせていただきました。一言で「アイメイト使用者」といっても、歩くスピードやまわりの状況、誘導される方がどう案内して欲しいかによって一人一人違いますので、相手に合わせたご案内が自然にできるようになれるといいですね。

今回は、意外と戸惑ってしまうことも多い、駅や電車での誘導について取り上げてみたいと思います。ここに書いてあるのは、アイメイト使用者の方に聞いたり今までの経験からまとめた内容ですが、これらを念頭に置きながら、実際に誘導する時には相手の方の希望も聞きながらベストな方法を見つけて下さい。



1、待ち合わせ

■目標…改札口の正確な名称と、わかり易い位置の説明を

駅で待ち合わせる場合、改札などの分かりやすい場所で待ち合わせることが多いと思います。このような時は、改札口が複数ある場合もありますので注意が必要です。

お互いが使ったことのある駅であれば、「北口」「南口」などと言うだけで分かりますが、初めての駅の場合、「最も新宿寄りの階段を下りた先の改札」といったように、方向や行き方などで位置を確認して待ち合わせ場所を決めましょう。



改札の正しい名称が分かっているならば、人に聞きながらそこを目指して来ることができます。

■時間…早めに到着して相手を見つける。視覚障害者の方を不安にさせない

アイメイト使用者に限らず視覚障害者の方と待ち合わせをする時には、時間に遅れないように、できれば少し早めに着いて、こちらから相手を見つけて声をかけるぐらいの余裕を持って出かけましょう。

よく知っている場所ならともかく、初めての待ち合わせ場所で視覚障害者の方が先に着いて待っている間、「本当にここで良かったのかな？」と不安に思うことでしょう。逆に視覚障害者を待つ方も、「途中で迷っていないかな」と心配だと思います。事前に携帯電話の番号などを交換しておき、約束の時間に遅れそうな時は連絡を取り合えるようにしておくとうれしいです。

ただし、最近は携帯電話のせいで待ち合わせが少しルーズになっている傾向がありますので、連絡すればいいやと遅れることがないように気をつけましょう。

2、駅構内の誘導

■基本の誘導方法は同じ。混雑している時は臨機応変に

誘導は、屋外であっても、駅構内であっても、基本通り右後ろから声をかけて道案内をします。「まっすぐです」「次の角を右です」「止まって下さい」「右にある階段を上がります」「踊り場です。もう一回上がります」「階段を上がったら右です」といったように、歩きながら、またおしゃべりの途中でも早めに声をかけて知らせましょう。

使用者の歩くスピードや誘導ポイント(階段や曲がり角など)との距離に合わせてタイミングよく声をかけると、使用者はアイメイトに指示を出してどんどん歩くことができます。

➡ 改札では、『カイサツ』の指示語でアイメイトが改札に誘導しますので、「左斜め前に自動改札があります」「10 時の方向に自動改札があります」、などおおよその方向をお知らせして下さい。

また、自動改札の入口と出口を逆に入りそうな時は、声をかけて正しい通り道に案内しましょう。

➡ 階段やエスカレーターは、上りか下りかということも忘れずに伝えるようにしましょう。

最近では、どの駅も階段の他にエスカレーターやエレベーターが整備されています。できれば、それぞれの位置や分かり易さなども考慮しながら希望を聞いて誘導できると思います。

混雑しているところでも、アイメイトが人をよけて歩きます。人の流れができていところでは、細かい方向は伝えなくても流れにのって歩きますので、階段（上り・下り）や曲がり角、また流れからはずれなければならない時などは、早めに伝えることを心がけましょう。

3、電車に乗る

■ホームでは安全第一に。引っ張ったりせず声で状況を伝える

ホームに着いたら、どちら側の電車に乗るか、どこ行きに乗るかなどを確認し、使用者にも伝えましょう。

到着状況は音で判断できますが、地下鉄では音が反響して、どちら側の電車が来たのか分かりにくい場合もあるようですので、「今来たのは反対側の電車ですよ」などとお伝えする配慮も忘れずに。

電車の乗り降りにはアイメイトに指示を出して単独でできますので、ハーネスや腕をつかんで引っ張ったりしないで下さい。

電車とホームの間が大きくあいている場合は、「電車とホームの間隔が広いので気を付けて」と声で教えて下さい。決して急に手を握ったり、身体に触ったりしないでください。



➡ 何か危険を感じた時は、大きな声で「ストップ！」「危ない！」などと伝えてください。

➡ アイメイトは道路や壁際の左端に沿って歩くように訓練されていますので、ホームの左側の縁を歩きます。危ないからと無理に真ん中に引き戻す必要はありません。ただし、明らかに危険な場合や、ホーム上が人で極端にぎっ返っていて注意が必要な時には、状況を伝え安全が確保できるようにお手伝いしましょう。

■車内では空席の有無を案内。アイメイトが邪魔になっていたら使用者に知らせる

電車に乗って座席が空いていたなら、左右どちら側が空いているか伝えれば、アイメイトと一緒に空席を探して座ります。立っている場合も座った場合も、アイメイトの体や尻尾が周りの人の邪魔になっていたら、使用者に伝えて位置や姿勢を直してもらって下さい。

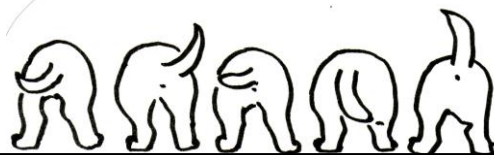
4、電車を降りる

■降りる時もホームと電車の間隔に注意

電車を降りる際は、どちら側のドアが開くかを伝えます。進行方向に向かって、右か左かご案内しましょう。乗るとき同様、電車とホームの間があいていたり、段差がある時には声でお知らせします。

⇒階段や通路を抜け、改札を出て、さあ今日の目的地へ向かいましょう！





アイメイト卒業生人数（2014年7月～11月）

期	卒業日	人数
第426期生	7月26日	4名
第427期生	10月 4日	4名
第428期生	11月 8日	4名

【累計 1,251名】

アイメイト実働数

260組

（2014年10月31日現在）

《卒業予定》12月以降、下記のクラスが予定されています。

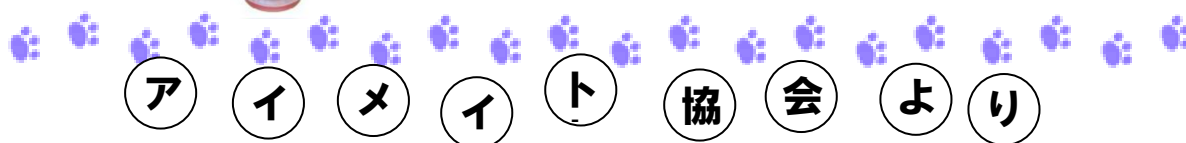
第429期生	12月13日	4名
第430期生	2015年 2月 7日	4名
第431期生	3月14日	4名

全国の盲導犬
実働数
1,010組

日本盲人社会福祉施設協議会発表
（2014年3月31日現在）



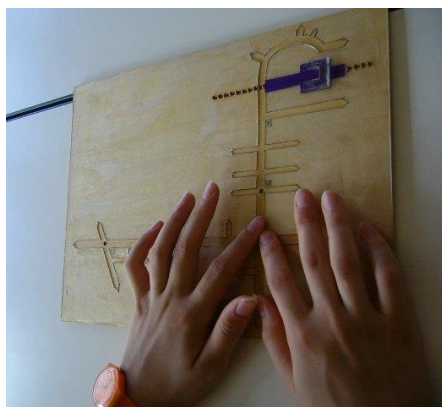
アイメイト募金の募金額ご報告は、募金芳名録のページに移動しました。



研修
プロフェッショナルに
なるために

今回の「協会だより」は、職員が受ける研修を取り上げます。研修と聞くと、どんなことを思い浮かべるでしょうか。ビジネスマナー、接遇、スキルアップのための講習……。協会の内外で実施される研修は、視覚障害者の安全な歩行を支援する施設ならではの、特徴あるものとなっています。その一部をご紹介します。

目隠しをして1日を過ごす～協会内での独自研修



触覚で空間を認識できる触地図
研修では、もちろん目隠しで触る

新人職員（歩行指導員見習い）が協会に入ってから受ける研修に、目隠しをして1日を過ごすというものがあります。約1週間にわたって先輩による歩行指導を受けるほか、古くからのアイメイト使用者である佐藤憲理事が講師を務める2日間のメニューも。食事から休憩時間まで、アイマスクを外すことはありません。

佐藤さんによる講義は、点字の基礎や、協会と使用者の歴史をたどる講話など。1970年代、アイメイトと自由にどこへでも出かけられるよう交通機関や施設、そして国会に働きかけ、視覚障害者の社会参加を切り拓いてきた佐藤さんのお話は、新人にとって何よりの勉強になります。

最後に、佐藤さんから宿題が出され、職員は後日、点字で佐藤さんに返事を書いて、研修は終わります。

視覚障害や視覚障害者についてトータルに学ぶ

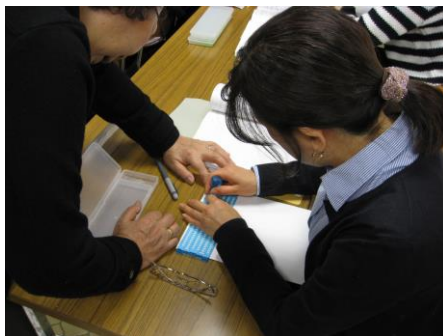
～「特定技能指導員講習 視覚障害・就労支援者講習会（基礎編）」 研修先：（社福）日本盲人職能開発センター



東京・四谷にある日本盲人職能開発センター



講義の様子



点字の講義では、点字器を使つての実習も

（社福）日本盲人職能開発センターが実施している（*1）講習会に、7年ほど前から職員が参加するようになりました。これは、視覚障害者の職域拡大、雇用の促進を図ることを目的に開催されているものですが、視覚障害に関するさまざまな事項をトータルに学ぶことができるうえ、行政や社会福祉関連の団体、盲学校教員、特例子会社社員や当事者など、多様な立場の方々が参加し交流も図れることから、とても有意義な研修となっています。

内容は多岐にわたります。目の構造と機能、視覚障害の要因や定義から、実際に白杖を使つての体験歩行、より細かな部分に及ぶ誘導の方法、音声読み上げソフトが入ったパソコンの実習、点字の学習、実際に企業で働く当事者による事例紹介など、座学から実技、ワークショップまで、4日間、ぎっしりと詰まったカリキュラムになっています。研修は年間を通して行われていますが、私たち協会職員が参加したのは暑さがピークの8月5日～8日。連日東京・四谷の会場まで通い、文字通り熱い経験となりました。

（写真提供：（社福）日本盲人職能開発センター）

“100%の暗闇”で、視覚以外の感覚の可能性に気づく

～Dialog in the Dark（ダイアログ・イン・ザ・ダーク）



ダイアログ・イン・ザ・ダーク 会場入り口

以前、このミニ通信でも紹介されたことのある「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」（*2）。光を完全に遮断した空間へ白杖を頼りに足を踏み入れ、アテンド（視覚障害者）のサポートを受けつつ探検していきます。公園とおぼしき場所でブランコに乗ったり、水遊びをしたり。ちぎり絵を作ったりガーデニングをしたり。ボールを転がしたり、カフェでお茶を飲んだり……。

約1時間半にわたる体験の過程で、参加者は視覚以外の感覚の可能性を知り、コミュニケーションの大切さ、人の温かさを実感します。8人1組のグループになるのですが、最初は遠慮していた参加者同士が次第に打ち解けて、外に出てきたときには以前から知っているかのように親密に。見えないということの不便な側面だけではない、視覚障害者の日常に思いを馳せたひとときでした。

（写真提供：ダイアログ・イン・ザ・ダーク事務局）

（*1）独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 委託事業

（*2）1988年にドイツの哲学博士・アンドレアス・ハイネッケの発案によって生まれたイベントで、世界35カ国、約130都市で開催されています。日本では1999年11月にスタートし、現在は東京・外苑前の常設会場で開催中。季節ごとに体験できるシーンは異なり、リピーターも多く訪れているそう。これまでに約14万人が体験しています。

研修を通して得た気づきや考えを一過性のものとせず、日々の業務に生かしていきたい。
これが職員たちの思いです。

EYEMATE SUPPORT GOODS

縫いぐるみ

あいと

取り外せる
ハーネス付き
鼻から尻尾まで
30cm

¥3,800



コットン ショール

綿 100%
ふんわり優しい
シワ加工
季節を問わずに
ご使用できます。
45cm × 180 cm
(シワ加工状態)

¥1,500



サブトートバッグ

刺繍・ビーズ・リボンをちりばめたおしゃれなバッグ。
マグネットボタン止め、裏面にファスナーポケット付き
裏地と同柄の巾着も付いています。

幅 23 × 高 20 × マチ 10.5cm

本体: 綿 100%

持ち手: 合成皮革

緑/茶

各 ¥1,900

新色登場!



2 頭ラブ携帯ストラップ

犬の体長 2.5cm

イエロー&黒/茶&ピンク

各 ¥1,000

真空

ステンレスボトル

保温、保冷のどちらも

高さ 19cm

直径 5.5 cm

容量: 300ml

¥800



手編みストラップ

縦横 4.5cm

¥600



手編みキーカバー

ラブ縦 5cm、横 4.5 cm

¥800



手編み鉛筆カバー

カバー縦 4cm

¥800



しっぽが揺れる ピンブローチ

縦 2.5cm

金/銀

各 ¥800

ハーネスラブ

ピンブローチ

2cm × 2cm

銅/銀

各 ¥500



後援会グッズでアイメイトを応援！



本革ハンドストラップ

色：金ラブ/銀ラブ

犬の体長 2.5cm

金/銀 各 ¥1,000



レザー

キーホルダー

牛革製

リングの直径

3cm

¥1,000



フック付き

キーホルダー

小ぶりの三連タイプ

イラスト部分直径

1.9cm

¥600



ミニタオル

黒田征太郎デザイン

20cm × 20 cm

青/赤 各 ¥300



写真エコバッグ

綿 100%

丈夫な厚地帆布生地

43cm × 39cm × 底マチ幅 7cm

¥1,500

イラストエコバッグ

綿 100%

薄地で畳んでバッグにしまえます

40cm × 31cm

マチなし

¥600



リバーシブルマグバー

両面使用可マグネット

15cm × 4 cm

¥400

スマホプラグ付き

ラブチャームストラップ

横 3.5cm

チェーンの長さ

20cm

¥800



しおり

ステンレス製

直径 3cm

¥200



貯金箱

高さ 18cm

¥800



シール

1 シートに 20 枚

A5 サイズ 15 cm × 21 cm

¥200

★グッズご購入の送料は、お買上げ 2 千円以上で無料(未満は送料 500 円～)

★お買上げ 2 千円未満でも、カレンダーを含み、メール便対応(厚さ 2 センチまで)の場合は送料無料

★お支払方法・お申込み先は裏表紙をご覧ください



Aセット



Cセット

クリアファイル 2 枚セット

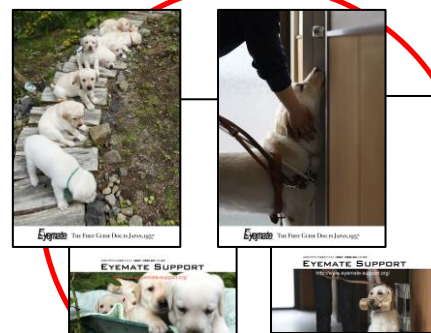
4 種類あります

A4 サイズ 22 cm×31cm

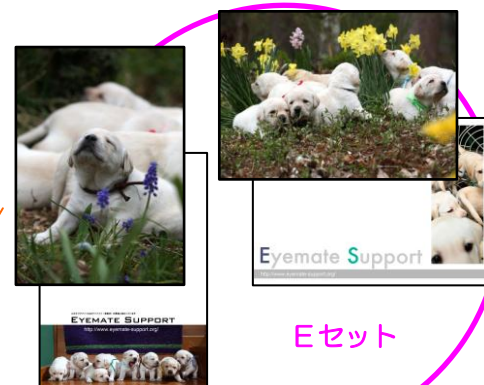
表面: クリア/裏面: 全面写真

A/C/D/E (Bは完売)

各 2 枚セット ¥300



Dセット



Eセット

ラブマスコット

体長 15 cm

チェーンの長さ 16 cm

アイメイトのタグ付き

ボールチェーンで

バッグやポーチに!

足の裏に肉球の刺繍

黒/白/茶

各 ¥1,600



写真ミニレター

8cm×19cm

ピンク/黄 各 ¥300



イラストミニレター

8cm×19cm

赤/緑 各 ¥300



ポストカード 4 枚組

子犬と母犬 4 種類セット

4 枚組 ¥500



2014 イラストミニレター

8cm×19cm

橙/青 各 ¥300



ミラークロック

9 cm×6cm

鏡下部にデジタル時刻表示

緑/青/オレンジ 各 ¥800

2015 アイメイトサポートカレンダー



アイメイトの子犬誕生からリタイアまでの様々なステージが登場！

A3 見開きサイズ 13 枚の中綴じ仕様／透明プラスチックのホルダー付き

～収益はアイメイト育成に役立てられます～

PHOTO：内村コースケ／監修：公益財団法人 アイメイト協会／制作販売：アイメイト後援会



価格：1,000 円

☆カレンダー1 部から送料無料！

☆お支払はカレンダーに同封の郵便振込用紙にて、振込手数料無料

☆TEL:03-3878-7353/FAX:03-3675-8588(鈴木)

☆e-mail:eyemate-goods@jcom.home.ne.jp